

あわらの文化財-石造狛犬を中心に-展示解説

あわら市郷土歴史資料館  
一般展示室企画展示ゾーン

あわら市郷土歴史資料館では今年度春季企画展として市域の文化財をテーマとしました。このテーマを選んだのは、今年 3 月に新しく市の指定文化財が一件加わったことを記念してということと、今一度身近にある文化財を見直していただき、先祖から託された大事な文化財を次世代へ守り伝えていく機運を盛り上げたいと考えたからです。

特に本展では身近であるが故に見過ごされがちな石造狛犬にスポットを当てました。笏谷石の産地である福井県では、古くから独特の石造狛犬が作られてきており、それらが各地に数多く残されています。あわら市にもたくさん残存していますが、あまり多くの人々に知られることなく神社にひっそりたたずんでいるのが現状です。

本展を観覧いただき、身近な文化財を見直していただければ幸いです。

展示 1・2 仏徳寺区 天満神社 石造狛犬

写真 1～4 展示番号 1 阿像

- 1：阿像正面
- 2：背銘「佛徳寺」、
- 3：右前脚銘「天神」、
- 4：左前脚銘「天文十三年□月  
廿五日」

縦 17cm 横 13cm 高さ 22cm



写真 1

写真 2

写真 3

写真 4

写真 5～8 展示番号 1 吽像

- 5：吽像正面
- 6：背銘「佛徳寺」
- 7：右前脚銘「天文十三年□月  
廿五日」
- 8：左前脚銘「天神」

縦 17cm 横 13cm 高さ 22cm



写真 5

写真 6

写真 7

写真 8



写真 9

写真 10

写真 11

写真 12

写真 9～12 展示番号 2 阿像

9 : 阿像正面

10 : 背銘「佛徳寺」

11 : 右前脚銘「西神」

12 : 左前脚銘「□文十三年□□  
廿五日」

縦 16cm 横 12cm 高さ 22cm



写真 13

写真 14

写真 15

写真 16

写真 13～16 展示番号 2 吽象

13 : 吽像正面

14 : 背銘「佛徳寺」

15 : 右前脚銘「天□十三年□□□  
五日」

16 : 左前脚銘「西神」

縦 16cm 横 12cm 高さ 23cm

展示 1・2 は上番の仏徳寺区にある天満神社に残されてきた石造狛犬です。在銘の資料では、あわら市で 2 番目に古いものです。小柄で髪型が印刻線彫してあるなど、他の中世より伝わる石造狛犬と比べると少し特殊な形状をしています。2 対残されていますが、大きさ・銘などもほとんど同じで、明確な違いがあるのは脚に記されている銘です。展示 1 は「天神」、展示 2 は「西神」とあります。「天神」は天満神社の祭神「菅原道真公」との関連と考えられます

### 展示 3 北潟西区 八雲神社 石造狛犬



写真 17

写真 18

17 : 吽像正面

18 : 台座（左側）銘

「□□□六月十四日 宥巖敬白」

縦 35cm 横 16cm 高さ 37cm

展示 3 が残された北潟西区の八雲神社は、安楽寺の奥院とも言われていて、明治時代に地域の神社を合祀した関係で複数の石造狛犬が存在します。中でも本資料が一番古手と思われ、残念ながら年号を示す銘の部分は磨耗し判読できませんが、形態などから中世（16 世紀）のものと推測されます。

展示4 宮谷区 八幡神社 石造狛犬

写真19・20 展示番号4 吽像(右)

19: 吽像(右)正面

20: 台座裏「奉寄進 施主高塚市三郎  
延寶三年卯十二月 日」

縦28cm 横9cm 高さ30cm

写真21・22 展示番号4 吽像(左)

21: 吽像(左)正面

22: 台座裏「奉寄進 施主高塚市三郎  
延寶三年卯十二月吉日」



写真19

写真20

写真21

写真22

縦30cm 横9cm 高さ31cm

展示4は宮谷区の八幡神社に残された石造狛犬ですが、他の狛犬とは明らかに形態の違う少しデフォルメされたユニークな作りとなっています。銘は年号の他、寄進した人物の名が記されていますが、残念ながらこの人物がどこの住人だったのかは定かではありません。また、この1対は両方とも口を閉じた吽像で、おそらく2対あったものが何らかの事情でそれぞれの阿像が失われ、残った吽像のみで1対を形成し伝世したものと思われる。

展示5 根上区 神明神社 石造狛犬



写真23

写真24

写真25

写真26

写真27

23: 阿像正面 24: 背左銘「元禄十四年巳三月十八日」 25: 背右銘「七(半右衛門カ)」

縦28cm 横19cm 高さ35cm

26: 吽像正面 27: 背右銘「同時」

縦27cm 横19cm 高さ36cm

展示5は上番の根上区にある神明神社に伝わったもので、ここにはこの石造狛犬の他に永禄二(1559)年銘の石仏と、石造狛犬とほぼ同時期の元禄十三年銘の石造鳥居があります。吽

像の角が消え尻尾も一房となり、中世の狛犬に残っていた獅子のイメージはほとんどなくなり、犬に近い近世らしい狛犬となっています。銘は阿像の背に年号と寄進者らしき名前のような文字が彫られていますがはっきりとはわかりません。吽像は阿像と同じ時期に作られたという意味なのか「同時」と刻まれています。鳥居や狛犬の銘に近いことを考えると、その時期に神社の建替などが行なわれ、併せて奉納されたものと推測されます。

## 展示 6 伊井区 白山神社 石造狛犬



写真 27

写真 28

27：阿像正面

28：尻尾銘

「文化十二し亥天

七月 十三日」

縦 24cm 横 36cm 高さ 58cm



写真 29

写真 30

29：吽像正面

30：尻尾銘

「伊井村南

氏子ノ内寄進」

縦 24cm 横 36cm 高さ 58cm

展示 6 は伊井地区の白山神社に伝わった石造狛犬で、おそらく社殿の中に置かれていたのか、200 年前のものとは思えないほど状態がとても良好です。首を横に向けるスタイルの石造狛犬はあわら市内では珍しく、他には中川の金刀比羅宮にあるだけです。銘も尻尾に刻まれるなど独特の形態となっています。伊井地区の白山神社は本殿が市指定文化財（建造物）となっており普段は見られませんが、社殿周りの彫刻もとてもすばらしいものです。

## 展示 7 信楽焼壺（多賀谷左近三経公蔵骨器）



写真 31

胴径 24.2cm

口径 9cm

高さ 33.5cm

近世初期

郷土歴史資料館

保管

展示 7 は江戸時代初期に越前国で九頭竜川以北を初代越前藩主結城秀康より預けられた多賀谷左近三経の墓より出土しました。中には人骨が入っており、調査した結果、熟年期の男性の全身部分骨 1 体分が確認され、多賀谷左近三経のものであろうと推定されています。

### 展示 8 静波双雀文鏡

展示 8 は櫛石塔  
(市指定史跡) の  
初層中央部から発  
見されました。二  
羽の雀とさざ波を  
鑄出し、風情のあ  
る花鳥を題材にし  
た優雅な紋様です



写真 32  
直径 9.3cm  
中世前期  
個人蔵

### 展示 9 亀甲双雀文鏡

展示 9 は清滝区  
の堂ヶ谷から出土し  
ました。中央に亀  
鈕を鑄出し、亀甲  
地に接嘴した双雀  
を配しています。  
何らかの場所に懸  
けて信奉されたと  
考えられています



写真 33  
直径 11cm  
中世後期  
個人蔵

### 展示 10 漆塗椀

展示 10 は竹田川西側の自然堤防に広がる  
東大寺領桑原庄があった地域の発掘で、奈良  
時代の井戸跡から出土しました。  
しかし、表面の印花文などから、中世の作か  
とも推察されます。

口径 13.5cm  
高さ 5.8cm  
中世カ  
郷土歴史資料館  
保管



写真 32

### 展示 11 指中の板碑

展示 11 は今年 3 月に新たに  
市の指定文化財(歴史資料)  
に指定された板碑です。上  
部には阿弥陀三尊の種子  
(梵字)が刻まれ、下部には  
仏教用語とともに「□安二」  
と刻まれています。板碑の  
形態と併せて考察すると応  
安二(1369)年のものと推察  
されます。あわら市に板碑  
の文化が伝播したことを示  
す、とても貴重なものです。

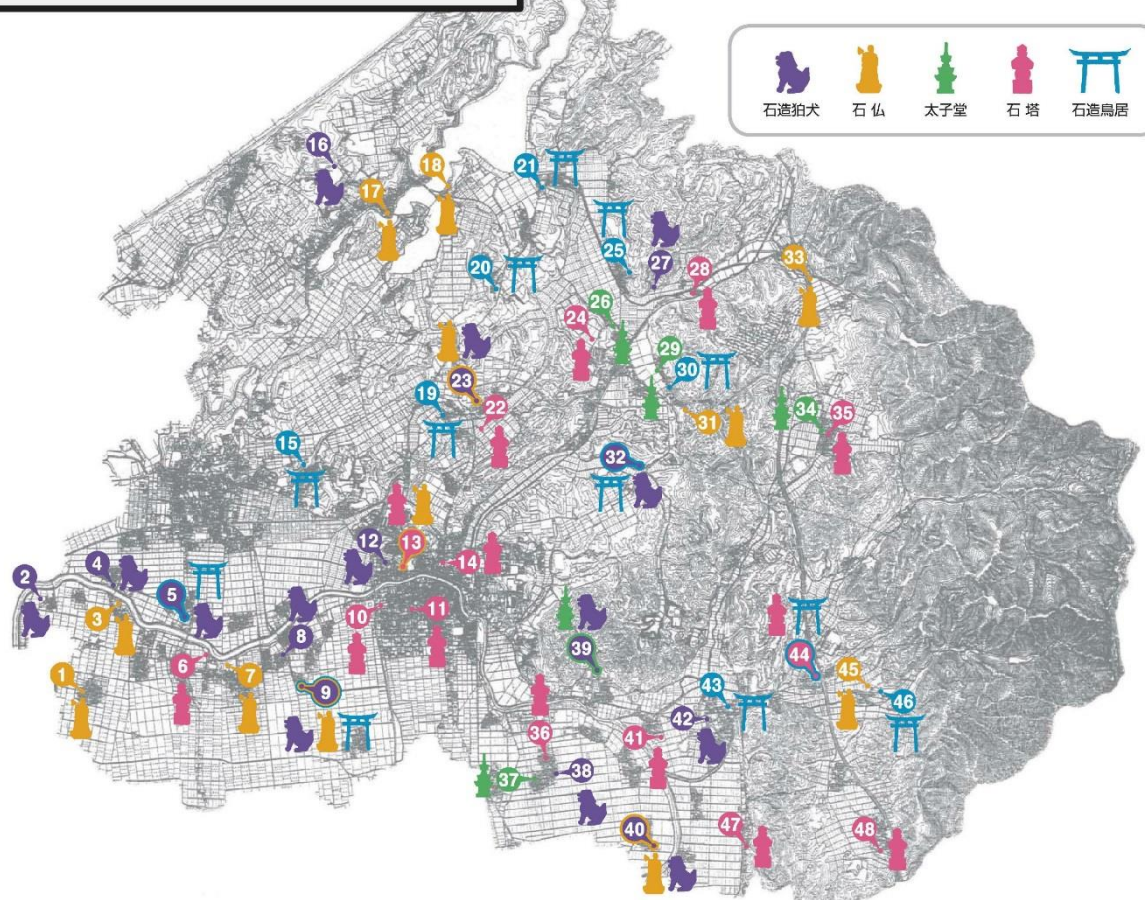
最大幅 41cm  
最大厚 32cm  
高さ 116cm  
中世カ  
指中区管理

上部銘 阿弥陀三尊の種子  
下部右銘 □□□□□法界  
□□利益之故也  
下部左銘 □安二  
念佛一結衆敬白



写真 33

# あわら市内石造物マップ



石造狛犬

石仏

太子堂

石塔

石造鳥居

## 市内石造物一覧(石仏・石塔・鳥居・太子堂)

番号	地域	場所	資料形態	時代	築年	備考
1	中濱	白山神社	石仏	中世	弘治三(1557)年九月十四日	
3	宮前公文	御前神社	石仏	江戸	元禄八(1695)	豊国三十三観世音(市指定文化財)
5	堀江十薬	神明神社	鳥居	江戸	寛延四(1751)年八月吉日	
6	中番	木荘小学校	石塔	中世		五輪塔
7	中番下番入会地	春日神社	石仏	江戸		十二神将石造
9	上番(根上)	神明神社	石仏	中世	永禄貳(1559)年十月七日	
10	大湊(馬場)	大湊神社	鳥居	江戸	元禄十三(1700)年辰三月十八日	
11	大湊(古町)	清江館跡	石塔	江戸	貞享五(1688)年十月	五輪塔
13	花乃社(下八日)	総持寺	石仏	江戸	寛永	
14	春宮(十日)	金津神社	石塔	江戸	寛延二(1749)年	雨夜塚(市指定史跡)
15	井江殿	八幡神社	鳥居	江戸	天文十九(1590)年八月二日	明治二十四年修理
17	北潟	宇寺崎	石仏	中世	貞享五(1688)年八月吉日	
18	北潟	北海善備園	石仏	江戸	永禄八(1695)年五月吉日	愛ノ神 二万堂
19	山十薬	春日神社	鳥居	江戸	元禄十一(1696)年八月	
20	坂口	神明神社	鳥居	江戸	文化十五(1818)年五月十六日	
21	細呂木	春日神社	鳥居	江戸	貞享五(1688)戊辰年八月吉日	
22	柿原	多賀谷左近の墓(市指定史跡)	石塔	江戸	慶長十二(1607)年口月二十日	宝篋印塔
23	柿原	専修寺	石仏	江戸	寛文三(1663)年	五輪塔
24	樺中	字64	石塔	中世	応安か	板碑
25	樺中	樺中神社	鳥居	江戸	元禄十四(1701)年辛巳九月吉日	
26	樺中	集落内	太子堂	江戸	明治三十四(1901)年	
28	沢	集落内	石塔	江戸	安永九(1790)年	宸形宝篋印塔
29	滝	集落内	太子堂	明治	明治三十八(1905)年	
30	滝	白山神社	鳥居	江戸	元禄四(1691)年三月十三日	
31	滝	洞名堂	石仏	江戸	享保十二(1727)年	八大龍王石造
32	宮谷	八幡神社	鳥居	江戸	元禄十三(1700)年辰二月吉日	
33	下金屋	国道8号沿	石仏	江戸		田ノ神
34	熊坂	集落内	太子堂	明治	明治三十六(1903)年	
35	熊坂	専修寺跡	石塔	中世		
36	伊井	春日神社	石塔	江戸	寛延四(1751)年	石灯籠型で上に狛犬が乗っている
37	伊井	応運寺	太子堂	江戸	寛延六(1823)年	
39	矢地	八幡神社	太子堂	明治	明治三十四(1901)年十二月	
40	古屋石塚	春日神社	石仏	江戸		
41	御麩尾	龍沢寺	石塔	中世		五輪塔
43	北	八幡神社	鳥居	江戸	享保十九(1734)年八月吉日	
44	樺	八幡神社	鳥居	江戸		市指定史跡
45	清滝	集落外れ	石仏	中世	文政八(1825)年八月下旬	
46	清滝	八幡神社	鳥居	江戸	弘治四(1558)年庚申下旬(※)	※弘治四年は二月八日に改元
47	清滝	日蓮寺	石塔	江戸	元禄十四(1701)年辛巳中冬吉日	
48	東山	神明神社	石塔	江戸	文化十(1813)年二月	五基

## 市内石造狛犬一覧

番号	地域	場所	時代	画像	築年(年号)	備考
2	角屋	春日神社	江戸			
4	布目	龍宮神社	江戸			
5	堀江十薬	神明神社	江戸			
8	上番(仏徳寺)	天満神社	中世		天文十三(1544)年口月廿五日	二対
9	上番(根上)	神明神社	江戸		元禄十四(1701)年巳三月十八日	
12	花乃社(坂ノ下)	八幡神社	江戸			
16	北潟	八雲神社	中世			複数体
23	柿原	専修寺	江戸			
27	沢	春日神社	中世		永正十二(1515)年六月吉日	市指定文化財
32	宮谷	八幡神社	江戸		延宝三(1675)年	
38	伊井	白山神社	江戸		文化十二(1815)年七月十二日	
39	矢地	八幡神社	江戸			
40	古屋石塚	春日神社	江戸			複数体
42	中川	金比羅宮	江戸			

※本一覧は、市内の石造狛犬・石塔(五輪塔、宝篋印塔等を含む)・石仏・太子堂に限定し、かつ江戸時代以前に制作されたもの(太子堂及び一部狛犬を除く)を掲載した